

安全にお使いいただくために！

ご使用前に、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

取扱説明書は必要なときにご覧になれるように、大切に保管しておいてください。

お買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

取扱説明書

コメット株式会社

〒336-0026 埼玉県さいたま市南区辻 4-18-2
TEL:048-839-3131(代)/FAX: 048-839-3136
<https://www.comet-ant.co.jp/>



アンテナは同梱して
おりません



【特 長】

- ラジアルを必要とする 50MHz 帯（単一型 1/4 λ）アンテナの調整に最適なロッド式ラジアルエレメントです。
ロッド式なので、エレメントを伸縮するだけで簡単に SWR の調整が可能です。
- 錆にくいステンレス製の L 型ブラケットと 12 段のロッド式エレメントを採用しました。
- エレメントは縮めた状態で約 245mm となり、リュックやカバンに格納しやすく移動運用にも使用可能です。
- 軽量で組み立て設置が簡単で移動運用に最適です。また、自宅のベランダ・フェンス等に取り付けが可能でアパマン・ハムにも最適です。

【仕 様】

周 波 数	50 MHz 帯	エレメント長	約 245 ～ 2180mm
形 式	垂直型アンテナ用ロッドエレメント型ラジアル	質 量	約 160g

⚠ 取付・設置上の注意

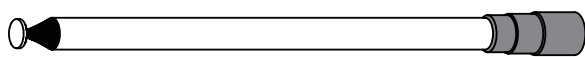
- 本製品は、アマチュア無線用として設計されています。50MHz 以外のアンテナに使用しないでください。
- 近くに他のアンテナや建物等の障害物があると、SWR の悪化や共振周波数がずれる原因になります。その場合はアンテナの取付位置やラジアルの設置位置等の変更をお願いします。
- アンテナ基台のねじ類は確実に取り付けてください。ゆるんだ状態で使用すると強風でアンテナが飛ばされたり落下する恐れがあります。
また、ロッド式ラジアルエレメントはダイポールブラケットに付属の接続ねじ金具で確実に取り付けてください。
- カラス等の鳥類がロッドエレメントに乗ると、重みで破損する場合があるのでご注意ください。

⚠ 取扱い・運用上の注意

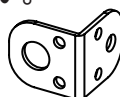
- アンテナやラジアルエレメントの取り付け・取り外し時やエレメント調整時などに、ロッド先端で目などをつついたりしないよう注意してお取り扱いください。
- 送信時及びその直後にはアンテナやラジアルエレメントに直接触れないでください。送信時の発熱により火傷する可能性があります。また、ロッド先端は送信時に電圧最大点になりますので触れないでください。
- 接続や固定用のねじ類は脱落事故が無いように、しっかりと締め付けてください。
- 連続出力時にはエレメントの発熱と SWR の悪化の可能性があります。その場合は出力を抑えるか、または出力する間隔を多めにとるようお願いします。
- アンテナの調整は正しく行ってください。SWR が悪い場合には、発熱・故障の原因になる可能性があります。
- お客様自信での分解、修理、改造等は、故障の原因になりますので行わないでください。
- ロッドエレメントが折れた / 曲がってしまった場合は修理が不可能です。丁重にお取り扱いください。
- ロッドを伸ばして使用するときは、高さ・周囲方向の障害物が無いかどうか常に注意してください。
- ロッドエレメントはステンレスですが完全防水構造ではありません。また、ロッド式なので水が浸入すると水滴はなかなか抜けません。雨天時やむを得ず使用した場合は格納時に水滴をよく拭き取り、内部をよく乾かしてください。
- 表面が濡れた状態で使用すると SWR が悪化することがありますので、完全に乾燥した状態で使用してください。

組み立てる前に！

☆梱包袋を開封したら、各部品が揃っているか確認してください。



ロッド式ラジアルエレメント
(1 本)



L 型ブラケット
(1 個)



接続ねじ金具
(1 本)

その他、取扱説明書（本紙）

【組み立てと調整方法】 ※図は参考例です。図内の基台等は別売りとなります。

- ① L 型ブラケットの 9mm 穴に付属の接続ねじ金具でラジアルエレメントを取り付けます（図 1）。
 - ② 同軸ケーブル用 M 型ジャックを取り付けた基台を用意します。
 - ③ ポールやベランダフェンス等に基台を取り付けます。
 - ④ 基台に取り付けた M 型ジャックへ L 型ブラケット（16mm 穴）を差し込みナットで取り付けます（図 2）。
 - ⑤ 50MHz のアンテナを M 型ジャックに取り付け完成です（図 3）。
 - ⑥ ラジアルエレメントを全て引き伸ばし、少しずつ縮めて最良の SWR になるよう調整します（アンテナ側のエレメントも併せて調整してください）。
- ラジアルエレメントの調整は下記の【ラジアルエレメント 1cm 当たりの変化量】を参照し調整してください。

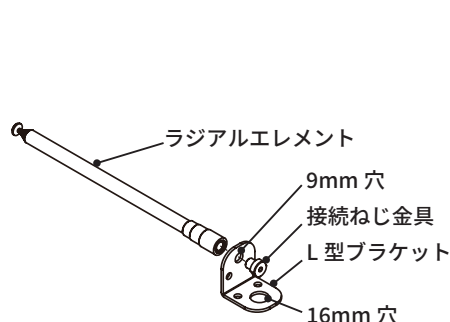


図 1

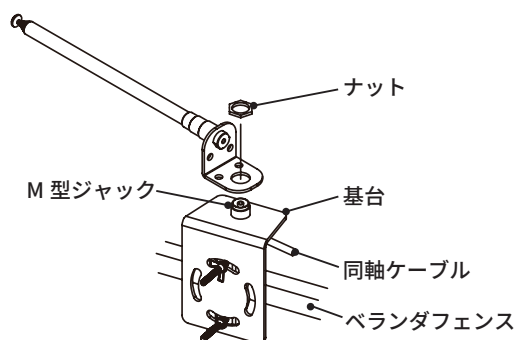


図 2

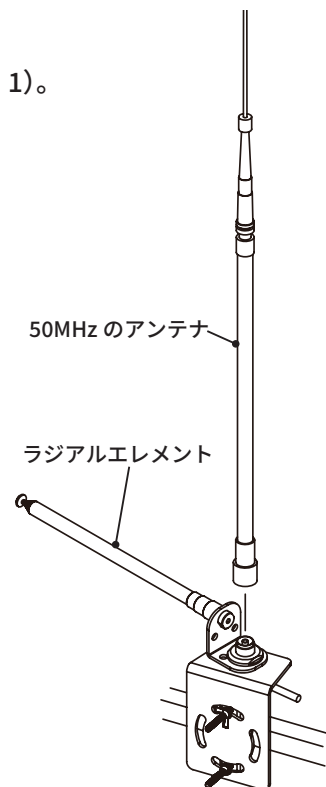


図 3

【ラジアルエレメント 1cm 当たりの変化量（目安値）】

アンテナ側のエレメント長を変えなくても、ラジアルエレメント長で周波数の微調整が可能です。

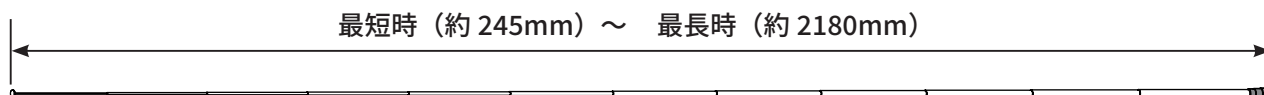
例) 50MHz 1/4λモノバンドモービルホイップ（HFB-6）や、50MHzを含むマルチバンドアンテナ（UHV-9）の場合

UHV-9 のような HF 帯との多バンドによるアンテナの場合、HF 用カウンターポイズを取り付けた状態でも 50MHz のラジアルエレメントは共有可能です。

アンテナ	1cm 当たりの変化量	51.0MHz に合わせたときの長さ L
HFB-6	0.1MHz	約 1600mm
UHV-9	0.1MHz	約 1570mm

他にも50MHz帯1/4λホイップ系のアンテナに対応しています。

調整長 L



【アフターサービス】

- 不慮の事故などによる各部品の破損、長期間のご使用による劣化交換のために補充部品を用意しておりますので、お買い求めいただいた販売店などにお申し付けください。
- 取り付け組立方法・その他技術的なご質問などは、弊社カスタマーサービス係までお問合せください。

コメット株式会社 カスタマーサービス係

品質向上のため、予告なく外観・仕様を変更することがありますのでご承知ください。

〒336-0026 埼玉県さいたま市南区辻4-18-2
TEL : 048-839-3132 / FAX : 048-839-3136

1st edition. Feb 2021. Printed in JAPAN.
Copyright (C) 2021 COMET CO., LTD. All Rights Reserved.